とうえい

9月号

発行者●社会福祉法人桐栄会
●青森市浪岡大字樽沢字村元330番7
TEL　0172－62－9201
FAX　0172－62－9019
編集●広報「とうえい」編集委員会



8月8日、第34回目となる「ゆうゆう荘 夏祭り」が行われました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年を最後に、7年ぶりとなる開催。当時の記録や記憶を頼りに、約2ケ月前から少しずつ準備をしました。

前日、当日は、じりじりと照り付ける太陽の下、他事業所の職員にも協力していただき、テントやステージ、看板や椅子などの設置を行いました。

祭りは17時から模擬店スタート。オープニングは、のざわ子ども園の子供たちが元気いっぱいの鼓笛で飾ってくれました。利用者の方々は「あれ～、めごいなぁ」と目を細めていました。

桂ゆり様、福浦隆之様による歌謡ショーでは、馴染みのある歌に手拍子をしたり、口ずさんだりと、利用者の方々だけでなく、ご家族の方々も楽しんでおられました。

祭りの最後は恒例となった打ち上げ花火。樽沢の夜空に大輪の花とダイナミックな音を響かせていました。真上で打ち上がる度に「ろ～」「わぁ～」「いいなぁ」などと歓声が上がり、拍手も沸き起こっていました。

久しぶりの夏祭り開催に、準備は大変なこともありましたが、楽しんでいる利用者の方々を見ると、開催できたことに心から良かったと感じております。

そして、利用者ご家族、地域の方々にたくさんご来場いただけたことに感謝したいと思います。多くの皆様にご支援、ご協力をいただき開催することができました。本当にありがとうございました。

T・S

令和八年度　永年勤続表彰について

去る五月二十三日、弘前市「フォルトーナ」において十年以上勤続して事業に貢献された職員の表彰式が執り行われました。本年度の受賞者は、浪岡事業所一名、常盤事業所一名、にしやま事業所六名、鶴ケ坂事業所一名、計九名でした。

表彰式では、はじめに中川理事長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が授与され、その後、長年にわたり事業運営にご尽力いただいたことに対して労いと感謝のことばがありました。受賞者の皆さん、誠におめでとうございました。

（本部事務局）



中川理事長(左)から表彰される受賞者

社会福祉法人 桐栄会の事業

浪岡事業所

【介護保険指定事業】

◆特別養護老人ホーム　ゆうゆう荘
・介護老人福祉施設
・短期入所生活介護
・介護予防短期入所生活介護

◆デイサービスセンター悠悠
・通所介護
・介護予防通所介護

◆浪岡在宅介護支援センター
・居宅介護支援

【老人福祉事業】
・浪岡在宅介護支援センター
・外出支援サービス

◎電話(代)〇一七二－六二－九二〇一

にしやま事業所

【介護保険指定事業】

◆介護老人保健施設　なみおか
・併設型通所リハビリテーション

◎電話(代)〇一七二－六九－二二〇〇

常盤事業所

【介護保険指定事業】

◆特別養護老人ホーム　ときわ
・介護老人福祉施設
・短期入所生活介護
・介護予防短期入所生活介護

◆デイサービスセンターみずき
・通所介護
・介護予防通所介護

◆グループホームいこい
・認知症対応型共同生活介護
・介護予防認知症対応型共同生活介護

【ケアハウス】
・ケアハウスしずか

◎電話(代)〇一七二－六九－五三五五

鶴ケ坂事業所

【介護保険指定事業】

◆特別養護老人ホーム　つるがさか
・介護老人福祉施設
・短期入所生活介護
・介護予防短期入所生活介護

◎電話(代)〇一七－七六三－一〇五一

編集後記

引退は突然の事であった…。

サッカー選手として中学校生活最後の年を迎えようとしていた3月下旬、久し振りの県外での遠征試合に笑顔で行った次男坊だったが…怪我をして帰ってきた。

後日病院で精密検査をするとサッカー選手としては致命傷である「左膝前十字靭帯断裂」との事。それから数ケ月後に手術を行い、医師から告げられた言葉は…「完全復帰は来年の春の予定」との事で実質の引退勧告であり、あっけない幕切れであった。

小さい時から一緒にやってきた仲間達と、最後の年にグラウンドを駆け巡る事が出来なくなった我が子の気持ちを考えると心が痛い。

思春期真只中でどこ迄伝わるのかは分からないけれど、本人にはこう伝えた…。

「今回の怪我で心と身体に大きな傷を負って色んな意味の痛みと苦しみを知ったと思う。人は痛みや苦しみを知る事で優しくも強くもなれる。悪い方ばかりに受け取らず、必ずその痛みと苦しみを乗り越えろ！そして一人の男として、一人の人間としてもっと大きくなれ！自分に負けるな!!」

色んな葛藤はあると思うけれど、現在は気持ちを切り替えて今までやってこなかった勉強を自分なりに頑張っている日々。

先の事は分からないけれど、来年の春、ボールを追い掛けながらグラウンドを縦横無尽に駆け巡っている姿を…また見たいな…。　Y・F

感謝録

感謝に来て下さいました皆様です。有難うございました。

・鶴ケ坂寿会（清掃活動）
・鶴ケ坂町内会（炊き出し訓練）

※「とうえい」掲載の個人に関する情報は、ご本人の許可を得て使用させて頂いております。

浪岡事業所

特養ゆうゆう荘

七夕ゼリー作り

7月の行事といえば七夕です。蒸し暑い日が続く中、今年は七夕ゼリーを作りました。

少しでも涼しんでもらえるよう水色のゼリーを大きな容器に準備し、利用者の方々に好きな量をすくってもらいフルーツや生クリームをトッピングしてもらいました。

容器に入ったゼリーを見て「うわーなんぼでかいんだ、青いゼリーだな」と驚いたりする様子も見られました。

自分の番になると皆さん上手にゼリーをすくっており、色鮮やかにトッピングしていました。

ホールや玄関先に飾ってある短冊や七夕の飾りとともに季節を感じながら召し上がってもらい、素敵な笑顔を見せてくれました。

今後も利用者の方が楽しめるような行事を出来たらいいと思います。

O・S



デイサービスセンター悠悠

「かねさ工場見学」に行ってきました！



天気にも恵まれ、いざ出発。

利用者の方々も職員も初めて行く人が殆どで心はワクワクです。

入口に入るとすぐ目の前にエレベーターがあります。2階の方に上っていくと、津軽にまつわるムービー上映やカフェ、味噌作りの見学、津軽の郷土料理のサンプルが飾られていて、色々と楽しむことが出来ます。

さらに工場の中の方に入っていくと、大小様々な味噌樽が飾られてあり、「昔だっきゃ、これさ味噌入ってったもんだ。」と利用者の方々の懐かしそうに話す会話が聞こえてきます。

郷土料理のサンプルには、人参の小和えやイガメンチなどなど、本物にそっくり色鮮やかで、「これおいしそう」「わーもよく作ったもんだね」「食べたいねー」など、あちらこちらから賑やかな声が聞こえていました。

2階の窓からは八甲田山がきれいに見えており、目も心もリフレッシュされ利用者の方々の笑顔を沢山見る事ができました。

秋の紅葉時期に訪れるのも良いかもですね。

K・M

浪岡事業所の新職員さん



介護職員
鹿内 和美



厨房職員
八木橋 綾乃

特養ときわ

道の駅へドライブ

6月某日、鶴田町の「道の駅あるじゃ」にドライブへ出かけました。

当日は残念な事にどんよりとした曇り空。目的地までの道中、雨が降り始め時折激しく降る所も見られました。

しかし、車内は笑い声が響く穏やかなひと時。窓から見える景色に目を奪われる方、はじけるような笑顔でじょう舌になる方、手をたたいて歌を口ずさむ方と様々な表情が見られていました。

道の駅到着時は小雨だったので滞在時間は短くなりましたが、おやつを買ったりアイスを食べる事もでき、普段と違う楽しい時間を過ごされていました。

生憎の天気でしたが、良い気分転換になったと感じています。

次は晴れた日にまたドライブへいきたいと思います。

Y・N



浪岡のかねさみそ工場見学



浪岡にある「かねさ味噌工場」へ見学に行きました。

利用者の方の中には浪岡に住んでいた方も多いので国道を走ると「懐かしいな」との声も聞かれました。

工場には青森の郷土料理や季節の食べ物の食品サンプルが展示されており「昔は良く作ったな、おいしそうだ」等話されておりました。

工場見学では、説明を真剣に聞いている方や生産ラインにくぎ付けになっている方もおりました。

ゲーム感覚で味噌作りを体験できるコーナーもあり、一生懸命ハンドルを回しておりました。

食堂では、おにぎりセットを注文して「美味しい」と話しながら召し上がっておりました。

K・O



常盤事業所

デイサービスセンターみずき

猿賀公園ドライブ

5月中旬に、猿賀公園へドライブに出かけました。

木々の緑が深まり、さわやかな風が吹き抜け、外出にはピッタリの季節です。

公園内の池の鯉を眺め「うわ～すごい！」「こったにいるんだが？」と鯉の多さにとても驚いていました。

餌をあげると、より沢山の鯉が群がり、口をパクパクと開けて池のほとりに集まり、餌を欲しがっていました。

鯉の餌やりを楽しんだ後は、ソフトクリームを食べ、心もお腹も満たされ、帰路に着きました。

また来年も行きましょうね。

A・J





彫刻とゆかいな作品展見学

常盤ふるさと資料館あすかへ彫刻とゆかいな作品展見学に行ってきました。

入り口では、右手を上げて歓迎している鬼っこ、左手を伸ばして順路を案内する古老の鬼っこが出迎えてくれました。

折り紙で作られた昆虫や動物、蟹や鯉なども展示されており、利用者の方々は目を凝らしてじっくりと見ていました。

自分たちよりも大きい彫刻や手で触れられる人気のキャラクターの作品もあり、木のぬくもりを感じる事ができました。

迫力のある毘沙門天の前に行くと歓声を上げる方もおられ、貴重な時間を過ごすことが出来ました。

K・N



グループホームいこい

みんなでワイワイ！駄菓子釣りゲーム







昔懐かしい駄菓子に輪ゴムと割り箸にフックをつけて、利用者の方が食べたい駄菓子を狙って釣って頂くというゲーム！

「わだっきゃ、釣れねびょん」と当初は遠慮がちであったある利用者の方。

いざ割り箸の竿を握ると、狙った獲物は逃さないと真剣な表情！

駄菓子が釣れた時は「わぁ～釣れたぁ～」と大歓声でした。

皆様、童心に帰ったように笑顔で楽しまれていました。

「甘納豆、1番めぇ～や」

「わたあめ、懐かしい」

「チーズかまぼこ、久しぶりに食った」など、おのおの釣った駄菓子を食べ、昔の話に花を咲かせていました。

Y・T

食事会（バーベキュー）

一昨年からグループホームでは、バーベキューを行っています。普段と違う雰囲気で食事をすることで、気分転換を図りながら楽しく食事をすることができました。

準備を行う際には、利用者の方と買い出しに行き、地元の商店の方と久しぶりに触れ合う事ができました。

外で焼き鳥やお肉を焼き始めると「何をしてるの？」と興味深々で外の焼き台を見学し、「昔は家族と一緒にやったりした」と嬉しそうに話される方もいました。

食事が始まると「昔はお酒を飲みながら楽しんだとノンアルコールビールで乾杯されていました。また、食事中は「美味しい！」「満足だ！」と嬉しそうに話しており、笑顔が見られていました。

昔は焼き台で焼きおにぎりを作ったなど話されており、職員と一緒におにぎりを作りながら昔を懐かしまれていました。

これからも利用者の方が楽しむことができるように行事計画をしていきたいと思います。

H・K









ケアハウス しずか

常盤事業所

父の日の楽しい出来事

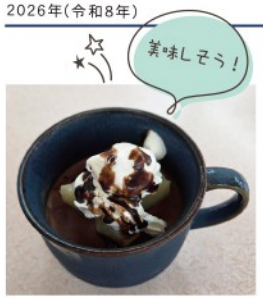
6月21日の日曜日に父の日を祝う会を行いました。今回は、さくらチームとひまわりチームに分かれてトランプで【神経衰弱】を行いました。

「私、トランプ初めてやるんだ。」や「昔、トランプやったなあ。」と懐かしんでいました。いよいよ、トランプを並べてトランプめくりが始まりました。7のカード、9のカードをめくり「なかなか合わねじゃあ?」などとぼやいていました。

数字が合うと「わぁ、合ったじゃ!」と、当たったカードをもらって大喜びされていました。ひまわりチームは次々とカードを合わせ、当たったカードを手に取り「こっちもう終わったよ。」と終了宣言、さくらチームがなかなかカードの数字が合わないのを見て大笑いされていました。

トランプが終わり、手作りチョコプリンを提供すると「甘くて、美味しいね。」「よく、作ったね。」と話しながら楽しい時間を過ごしました。

H・F





看護職員 仲宗根 みゆき

常盤事業所の新職員さん

老健 なみおか

にしやま事業所

ドライブ ～青森ラッセランド～

いよいよ始まるあおもりの夏の風物詩

7月8日、午前・午後と2回に分け、青森ラッセランドへねぶた見学に行って来ました。

ここ最近は5月でも暑い日が多くなってきているため、当日も炎天になるのかなと心配でした。

天気は曇り、海風も吹いていたので午前は少し肌寒く感じる日でした。

ねぶたの色付けもまだ途中の段階で閉まっている小屋が大半でした。覗いて見れる小屋もあり、間近で迫力満点の青森ねぶたを見ることができました。

利用者の方もじっくり見学し、「何十年ぶりだろうか、近くで見れたしとても楽しかったじゃ」と喜んでくれました。

これから始まる青森の儚く短い夏の夜を彩る風物詩。青森ねぶた、弘前ねぶた、五所川原立佞武多、八戸三社大祭。

ここ何年も見に行ったことがありませんが、機会があれば、迫力のある山車をまた見たいなと思います。

N・K





通所 リハビリテーション

全集中!!

通所では、今年度から全体体操の他に年6回(行事の他に)集団レクを実施しており、今回は7月に行われたレクを紹介したいと思います。

棒2本使用し、その棒にボールを挟んで隣の利用者の方に渡していく、ボール送りゲーム。

ラップの芯に、滑り止めと色分けとしてガムテープを巻いたものを持ってもらい、プラスチックのボールを隣に送ります。

今回は競争はせず、二組に分かれて行いました。

見た目よりも難しく集中力が必要。ボールを縦や横に様々に挟み、うまく隣に送れない利用者の方には、職員がサポートしながら行いました。

落ち着いて行う方もいれば、ついついカが入ってしまう方も…。

これからも試行錯誤しながら色んなレクリエーションを行い、楽しんでいきたいと思います。

Y・T





特養 つるがさか

鶴ケ坂事業所

開設記念

5月1日開設記念日を迎えました。

今回は利用者の方々に笑いを届けようという目的でユニット職員による「かくし芸大会」を行いました。

「大相撲つるがさか場所」、「つるがさか雑技団」、「パンスト相撲選手権」の3つの芸が行われました。

力士に扮した職員による相撲の取り組み、雑技団による皿回しと輪くぐり、パンスト相撲によって変形した顔を見て、会場は拍手と笑いに包まれました。

今回初めての催しで、かくし芸とは呼べないものもありましたが、利用者の方々にも笑いを届けられ、施設全体で楽しめた開設記念日となりました。

Y・M









運動会

全体行事である運動会を開催しました。

天気にも恵まれ運動会日和でした。「玉入れ」や「お玉リレー」などの競技を行い、利用者の方々は真剣な表情で競技に取り組まれていました。

また、応援にも力が入り利用者の方と職員が一緒に協力し、楽しい時間を過ごすことができたと思います。

運動会終了後には野外食を行い、職員手作りの焼きそばやお好み焼きなど「外で食べると美味しい」と喜んで頂き、思い出に残る運動会となりました。

N・W

100歳 誕生会

8月2日、金子貞子様の百寿をお祝いする会を行いました。

薄ピンク色の衣装に身を包み、ご家族の方や沢山の利用者の方、職員に見守られながら、和やかな雰囲気の中開催。

まず、施設長より顕彰状と花束が贈られ、各ユニット職員よりお祝いのメッセージを渡しました。そして、ご家族の方からは、お母様及び職員に対して感謝の言葉を頂きました。

その後、厨房職員がこの日のために作り上げた特製ケーキがお披露目され、手の込んだケーキにご本人もご家族も大変喜ばれていました。

お祝い会終了後は、行事食をご家族と一緒に会食して頂き、思い出話しに花が咲き、ご本人も幸せそうな表情をされていました。

これからもお元気で穏やかな毎日を過ごしてください。

M・M



